

まち わが故郷いそべ

Vol.60

発行：令和8年10月13日 編集：磯部地区まちづくり協議会・磯部コミュニティセンター



いそべ夏まつり 今年也大盛況！

丸岡南中生も大活躍！ ALL磯部のつながりづくり！

令和8年 5月31日

磯部地区体育祭が開催されました!

今年で**第50回目**を迎える記念大会にふさわしく、メドレーリレーや綱引き、玉入れなど多彩な競技で白熱した戦いが繰り広げられ、会場は終始熱気に包まれました!

●総合順位

総合1位: 2分団 総合2位: 5分団 総合3位: 6分団
総合4位: 4分団 総合5位: 1分団 総合6位: 3分団

●種目ごとの順位

五種目障害物リレー (小学生の部)	1位: 5分団	2位: 2分団	3位: 4分団
五種目障害物リレー (一般)	1位: 4分団	2位: 5分団	3位: 2分団
グラウンドゴルフ	1位: 1分団、2分団 (同率)	3位: 3分団、4分団 (同率)	
メドレーリレー	1位: 2分団	2位: 1分団	3位: 5分団
むかで競争 (第1レース 一般男性)	1位: 2分団	2位: 1分団	3位: 6分団
むかで競争 (第2レース 一般男性)	1位: 3分団	2位: 5分団	3位: 2分団
むかで競争 (第1レース 一般女性)	1位: 4分団	2位: 6分団	3位: 3分団
むかで競争 (第2レース 一般女性)	1位: 5分団	2位: 2分団	3位: 4分団
玉入れ	1位4分団	2位: 5分団	3位6分団
綱引き	1位: 6分団	2位: 2分団	3位: 5分団
男女混合リレー	1位: 5分団	2位: 2分団	3位: 6分団



令和8年 7月26日

いそべ夏まつりが 開催されました！

今年も多くの参加者が来場され、会場は地域の皆さんの笑い声や楽しそうな会話で大いに盛り上がりました！当日は様々な催しや出店が並び、子どもから大人まで幅広い世代が夏のひとときを楽しみました。
準備や運営に携わった皆さんのご協力もあり、今年も地域のつながりを感じられる、楽しい夏まつりとなりました！





まち協からの

お

知

ら

せ



モルック大会を開催

▶ 教室参加者ら16名が白熱のプレー、笑顔あふれる一日に

礪部地区まちづくり協議会が毎月実施しているモルック教室の特別企画として、9月6日（日）にモルック大会がこのほど開催されました。参加者は教室に通う住民ら16名。礪部コミュニティセンター大ホールで、世代を問わず楽しめるスポーツとして人気が高まるモルックを通じ、地域の交流を深めることができました。

大会では、普段の練習の成果を発揮しようと、参加者が真剣な表情でスキットルを狙う場面が見られた。得点が入るたびに歓声が上がり、お互いに声援も飛び交うなど、終始和やかな雰囲気が進められました。

参加者からは「教室で練習してきた仲間と競い合えて楽しかった」「初めて大会形式でプレーしたが、思った以上に盛り上がった」といった声が聞かれた。全員が笑顔で大会を終え、地域スポーツとしてのモルックの魅力を改めて感じる一日となりました。

同協議会では「今後も教室や大会を通じて、誰もが気軽に参加できる交流の場をつくっていきたい」と考えています！



礪部地区まちづくり協議会 防災体験研修を実施

▶ 地域の安全意識向上へ、体験型学習で理解深める

礪部地区まちづくり協議会は6月28日（日）、令和8年度研修会の一環として、福井市防災センターで防災体験研修を行いました。参加したまち協推進員らは、地震や火災を想定した訓練設備を活用し、災害発生時の行動や備えについて実践的に学びました。



研修では、福井地震や福井豪雨の映像を見た後、地震の揺れを再現する装置や暴風などを体験。参加者は実際に体を動かしながら、災害時に求められる判断や行動を確認した。防災センター職員による解説もあり、日常の備えや地域での連携の重要性について理解を深めました。

参加者からは「体験すると危険の実感が違う」「地域での防災意識を高めるきっかけにしたい」といった声が聞かれました。

同協議会では、地域の安全と魅力を学ぶ研修として、午後には一乗谷朝倉氏遺跡博物館や復元町並の見学も実施。防災と歴史の両面から地域理解を深める一日となりました。





小学生が1泊2日の防災合宿 磯部コミュニティセンターで開催

6月26日（金）から27日（土）にかけて、小学4年生から6年生を対象とした「防災合宿」（1泊2日）を行いました。

今回の合宿では、「知っている」だけでなく「できる」力を身につけることを重視。非常食を使った調理、懐中電灯がない状況での明かりづくり、毛布や段ボールベッドを使った寝床づくりなど、子どもたちが自分の手で挑戦する実践型の防災合宿を行いました。また、地震や災害に関するクイズやゲーム、自分だけの防災リュックづくりなど、楽しみながら学べる内容を多く取り入れました。

参加してくれた子どもたちの感想です。

- 最初は恥ずかしかったけれど、だんだんできるようになってきて、カレーの材料もきった。防災のゲームとかひもを使った結びとかして、防災食のおにぎり、水や火をあんまり使わないカレーなどを食べた。いろいろ勉強ができました。そして、楽しくてワクワクしました。
- 夜に防災ゲームをやって、どんな人をどこに避難させればいいか考えながら班でやったのが、またやりたいなと思いました。
- 初めて知ったことは、防災バックの中には歯磨きセットを入れた方がいいそうです。なぜかという、口の中が清潔でなかったら、病気になりやすくなります。すごいと思ったことは、ロープの結び方です。本結びという結び方が私は好きでした。それとドライシャンプーはとても気持ちよかったです。
- カレーライスを作るためにタマネギを切りました。タマネギを切るとき目が痛かったです。ご飯を炊くとき、ご飯からいいにおいがしました。ご飯を炊くときは軍隊が使っている物らしいです。



※磯部コミセンは磯部コミュニティセンターの略称です。

青少年育成協会より 地域内交流ラジオ体操が開催されました！

7月19日(日)

暑い夏の日が始まる朝、今年も地域内交流ラジオ体操が開催されました。幸いにも曇り空の過ごしやすい天候の中、大崎哲郎体協委員長の模範体操に続き、体協役員の指導のもと参加者全員で体を動かしながら交流を深めました。

今回は参加者が73名と例年よりやや少なめでしたが、地域住民の健康づくりと親睦を目的としたこの活動は、今後も継続していく予定です。



放課後子ども教室

夏休みクラフト教室 野菜の端っこでスタンプエコはがき

7月30日(木) 磯部小学校1年生～6年生 9名参加

オクラやピーマン、れんこん、青梗菜など野菜の切れ端をスタンプにしてハガキを作りました。

いろんな野菜をスタンプにすると、それぞれ違った形や模様ができて子ども達はびっくり！

身近な野菜の切れ端を活用することで環境について考えるきっかけにもなり、楽しみながら学ぶことができる講座となりました。



夏休み運動教室 動いてほねしげき～♪

8月3日(月)・8月17日(月) 磯部小学校1年生～6年生 21名参加

低学年と高学年で分かれて開催された運動教室。テニスボールを使って投げたりキャッチしたり、年齢に合ったバランス感覚や身体の使い方などを学びました。夏休みに子どもたちが元気いっぱい身体を動かすとても楽しい時間となりました。

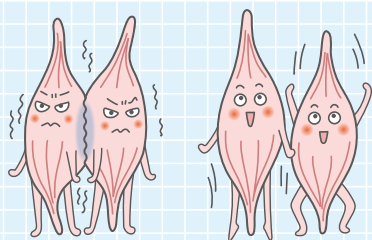


令和8年度 磯部コミュニティセンター講座

ほぐして整う筋膜リリース

5月12日（火）～ 全8回 受講生10名

手でゆっくり押して伸ばして、筋膜の癒着やこわばりをやさしくほぐし、コリや痛みの原因となるところにアプローチする方法を学びました。回を重ねるごとに、参加者の皆さんから「だんだん痛みが和らいで嬉しい～！」という声が聞かれるようになりました。



世代ミックス☆期間限定サマーパン教室

7月23日（木）、8月6日（木） 全2回 受講生10名

1回目はフレッシュなフルーツがのった「クリームチーズのフロマージュ」、2回目は夏野菜で作る「ピザパン」と、夏ならではのパン作りを楽しみました。皆さん大満足そうでもっとやりたいとの声も聞かれました。



磯部地区区長会

名古屋市港防災センターへ視察研修に行ってきました

6月14日(日)

研修に行った名古屋市では、昭和34年9月26日に潮岬に上陸した伊勢湾台風で紀伊半島から東海地方を中心に甚大な被害がありました。3Dシアターでは伊勢湾台風の接近の様子が3D映像と音響・照明で再現され、迫りくる台風、それにともない、木場から流れてくる大きな流木から逃げられなかった当時の再現をみました。映像ではありましたが大きな衝撃を受けました。起震車体験では地震発生時の心構えと日頃の備えについての大切さ伊勢湾台風の説明では水害は一気に襲い掛かってくる怖さを学びました。



直近では、7月に熊本での大きな地震、8月には千葉県、石川、富山そして8月29日からは福井豪雨でここ坂井市でも大きな災害が数多く発生しております。

災害は突然にやってきて昨日までの暮らしを大きく変えてしまいます。災害に強いまちづくり、地域づくり、そして私たち自身どのように行動したらよいか備えたらよいかなど有意義な研修でした。



【地震体験コーナー】

震度7、これが突然襲ってきたら…。起震車とわかっていても身を守るのは難しい。

【伊勢湾台風】

伊勢湾台風の凄まじい被害の様子をお聞きしました



市長へ要望書を提出

6月17日(水)

今年度は、谷内区長会長と室田センター長の2名とこれらの要望には県関係の部分も多くあり、今回は南川・森両県議会議員にも同席をいただきました。

磯部地区住民の皆様から寄せられた声に基づいて、地域全体の要望として通学路の安全対策や今市児童館の存続等8項目と、各区(10地区)よりの37項目を坂井市に要望してきました。

子どもたちの登下校時の安全確保、福井大学医学部附属病院へ向かう羽崎交差点から今市までの消雪装置の設置について、池田市長に丁寧に説明をしてきました。また、昨今の突然の豪雨に対応できるように引き続きの磯部川の整備についても要望をしました。

